

登小だより

市制施行二十周年

二十歳の上天草市と登立小

十月六日(日)に市制施行二十周年記念式典が開催されました。平成十六年三月に四町が合併して誕生した上天草市も二十周年を迎えました。本校も「大矢野町立登立小学校」から「上天草市立登立小学校」と校名が変わり、同じく二十周年です。二十歳の「ふるさと」、二十歳の「母校」です。創立百五十周年(令和三年)を経て、歴史と伝統の重みを感じているところですが、今回の二十周年に際して、新たな歴史の構築という意味からも、気が引き締まる思いです。「わたしたちは、天草五橋で結ばれた上天草市民です。」で始まる市民憲章には、私たち市民が自覚し、心に刻むべき五つの「まちづくり宣言」があります。「美しいまち」「文化のかけこみ」「安心してくらせるまち」「豊かなまち」「明るいまち」です。この五つの「まち」は「学校」とも置き換えることができます。皆様方とともに、上天草市の未来を創る宝である子供たちを「手塩に掛ける」思いで関わり、大きく育てていきたいと考えます。季節も秋本番を迎えます。何をするにも良い気候です。のびる学校生活、豊かな心もちの実感を目指して、教育活動を展開してまいります。ご理解、ご協力を願っています。



のびっ子やさしさ配り大作戦

のびっ子会の発案で始まった「能登半島水害被害支援活動募金」「気づき考え、行動する」姿が頼もしく感じられました。高い相手意識と行動力、「自分が動かなければ」という強い思いが周りの人たちを動かしています。今回の募金活動で得た「21248円」は、日本赤十字社を通じて、被災地に送られ、復興支援に活用していただきます。御理解とご協力をいただいた皆様方に、心より感謝申し上げます。

能登半島水害ばい金活動を計画しています。



October号



登立小HP

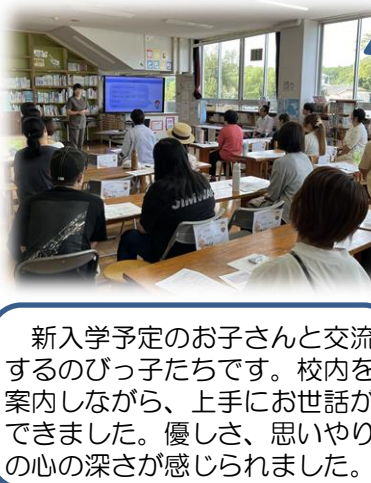
文責 校長 田崎正明

就学時健康診断

来年度入学予定のお子さん
と保護者の方々をお迎えし、健康診断(教育委員会主催)が実施されました。参加したおさんは22人です。元気で、笑顔があふれていました。「未来の のびっ子」たちとの出会いに高揚感が高まりました。同時に各ご家庭の心情をおもんばかり、個性を尊重し、良さを伸長すること、そして、安全を確保し、命を守り抜くことへの使命感を新たに作る時間ともなりました。のびっ子たちと手を携えて、来年4月のご入学を心待ちにし、盛大な入学式を準備したいと思えます。22人の「未来の のびっ子たち」のご成長を心から願っております。

平和の旅へ「修学旅行」

6年生が修学旅行に行ってきました。1泊2日の学習旅行です。中心は平和学習。戦争、原爆投下の惨状を自分の目と心でしっかりと捉えてきた6年生でした。平和公園での平和への誓いは、未来への強い約束となったことでしょう。そして、なんとと言っても、長崎の夜。美しい夜景、友と語り合った長い夜では友情の絆をより深め、忘れられない時間となったことでしょう。2日間で得た知識、考え方、心情、すべてを自分の力に変えてほしいと願います。これから、後輩たちに修学旅行の楽しさ、大切さそして、平和の尊さを伝えてほしいと願います。ご支援いただいた保護者の皆様方に心より感謝申し上げます。



保護者の方々にむけて生活習慣と健康の関わりについて学校歯科医の壽永先生にご講話をいただきました。



新入学予定のお子さん
と交流するのびっ子たちです。校内を案内しながら、上手にお世話ができました。優しさ、思いやりの心の深さが感じられました。



仲間ともに、楽しい思い出をつくりました

スマホの時間 わたしは何を失うか

睡眠時間 夜使うと睡眠不足になり、体内時計が狂います(朝が醒と夜の区別ができなくなります)。

学力 スマホを使うほど、学力が下がります。

脳機能 脳にもダメージが!!

体力 体を動かさないと、骨も筋肉も弱まらず。

視力 視力が落ちます(外遊びが目の働きを弱めます)。

コミュニケーション能力 人と直接話す時間が減ります。

公益社団法人 日本医師会 公益社団法人 日本小児科医会

スマホの時間で失うもの

先日、ふと目にしたポスターです。『スマホの時間～わたしは何を失うか』と題して、睡眠時間、体力、学力、視力、脳機能、コミュニケーション能力の6つ視点から使用の影響が示されていました。ブルーライト等の直接的な影響よりも、使用に係る間接的な影響が大きいようです。スマホやタブレットなどの情報端末は、今では生活には欠かせないものになりつつあります。今後は、ますます情報社会への移行が進み、便利さの追求の中で、必要不可欠な道具となりそうです。その反面、ポスターが示す通り「失うもの」があるという諸刃の剣と言えるかもしれません。度が過ぎる使い方は、自分の大切なものを失う結果になるということです。生活全般から自分の言動を考え、人間関係や健康を良好に保つ意識と、その実現努力が必要であると考えます。自律の途中にある子供たちはなおさらです。我々大人が手本を示し、子供たちの生活に腑に落ちた状態を常につくってあげたいと考えます。

みんなで楽しむ長崎旅行パンフレット

作成したパンフレットは、旅行先で出会った方々に配ったり、施設に置かせていただきました。とても好評でした。

長崎のオススメを紹介します

長崎市立登立小学校 令和6年度交流活動

のびっ子の輝き

Noboritate.es
School life scene

部会陸上記録会 快晴の下、市内の陸上記録会が開催されました。のびっ子の代表である5年生、6年生が参加しました。二学期に入り猛暑の中、しっかりと練習を重ねてきたのびっ子たちでした。その成果が十分発揮された記録会となりました。そして、何よりも応援は素晴らしく、友だちを思う心の広さを感じました。練習から本番までの取組が、のびっ子一人一人の心と体を一回り成長させたように感じました。



種目の上位入賞したのびっ子

【5年生の部】

- ・男子100m 2位：江崎 駿さん（15秒4） 6位：小幡春翔さん（15秒9）
- ・男子800m 1位：江崎 駿さん（2分55秒2）
- ・男子400mR 3位：男子Aチーム（1分5秒3）
- ・女子100m 1位：中原恵花さん（15秒8） 5位：坂口マリアさん（16秒7）
- ・女子400mR 5位：女子Aチーム（1分8秒9）
- ・女子走幅跳 1位：中原恵花さん（3m34cm）
- ・女子ソフト投 4位：種物谷皐妃さん（22m83cm）

【6年生の部】

- ・男子100m 3位：西 千翔さん（14秒4）
- ・男子800m 2位：島崎梨央さん（2分48秒）
- ・男子400mR 2位：男子Aチーム（1分0秒3）
- ・男子ソフト投 5位：西 千翔さん（43m85cm）
- ・女子100m 1位：松山みちるさん（15秒5） 4位：森本 和さん（16秒0）
- ・女子800m 1位：田中杏花さん（2分55秒3）
- ・女子走幅跳 1位：松山みちるさん（3m55cm） 5位：千原花乃さん（3m5cm）
- ・女子400mR 1位：女子Aチーム（1分3秒9）

いのちのじゅぎょう 1年生が命に関わる学習をしました。県動物愛護センターから講師をお迎えして、動物との関わりをもとに命の大切さを学びました。たくさんのゲストが登場し、みんな楽しく、愉快地に学習を進めました。「えがお、げんき、いのちキラキラ」の1年生でした。



国語の学習で 3年生が国語の学習の一環で、戦争体験についての講話を聴きました。いつもお世話になっている水野さんにご来校いただきました。国語で学習している「ちいちゃんのかげおくり」をより深く学ぶために計画したものです。みんな真剣にお話を聞いていました。メモもたくさん書き留めたみたいです。今日のお話を読む力に役立てて、国語の学習が深まっていくことを願っています。



運動会種目に再挑戦 昼休みに全校玉入れ大会をしました。体育委員会のみなさんの発案で実現した全校遊びです。前回の綱引きに続き、のびっ子全員で楽しく活動しました。笑顔と元気あふれるのびっ子たちで、運動場を明るく、とても賑やかになりました。



水稲活動 5年生が育てた稲が実り、収穫の時を迎えました。子供たちは、お茶碗を使って、初取りをし、328gの初を収穫しました。そこから302gの玄米を得ることができました。お米1合を150gとすると、約2合分の収穫になります。クラス全員分の食事ができるお米の量を考えると150g×22人分＝3300g必要になります。収穫活動を通して、「全員分のお米を収穫するには水田がどれくらい必要なのか」「1日分または1週間分を準備するには」といろいろと考えていました。当たり前のようにご飯を食べていることを本当にありがたく感じた瞬間でした。食料を支える人たちの労力を実感したのびっ子たちでした。



社会の一員として 4年生が認知症サポーター養成講座を受講しました。社会福祉協議会の方々を講師にお迎えし、認知症についての正しい理解、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る「応援者」として自分をつくることを目指しました。養成講座で得た知識を生かし、近所で気になることがあればさりげなく見守る、まちなかで困っている人がいたら手助けできるのびっ子になることを願います。



自然と仲間と「集団宿泊教室」 5年生が1泊2日で自然体験を伴う集団宿泊に参加しました。仲間と2日間生活を共にすることで、協力・協同といった学級の意識を高め、絆を再認識する目的で実施しました。宿舎内での規律ある行動、計画に沿った活動など、学校生活の活用場面が多く設定されていました。クタクタになった2日間でしたが、心で感じ、得た仲間意識、そして、それを得ることができた自分への大きな誇りを抱けた5年生であったように感じます。

